



文京区長

なり

さわ

成沢 ひろのぶ

私の約束

プロフィール

- 文京区本郷生まれ、53歳
- 暁星学園幼小中高、駒澤大学法学部卒業、明治大学公共政策大学院修了、修士(公共政策学)
- 当時全国最年少の25歳で文京区議会議員に初当選、第37代・第40代文京区議会議員
- 2007年、文京区長に就任。
- 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科、跡見学園女子大学兼任講師

最終街頭遊説

4/20(土)15:00~

礪川公園前

是非ご参加ください!!

ふみ みやこ 文の京の価値を広げる。

「文の京」の未来を担う大切な宝物である「子どもたち」、地域を守り育ててくれた功労者である「高齢者」。この大切な2つの世代をつなぐ「責任世代」として「子どもたちと高齢者への応援歌」を掲げ、すべての世代を支える施策の充実に全力で取り組んできました。この方針はこれからもかわらず掲げていきます。

1998年に165,000人台にまで落ち込んだ文京区の人口は昨年22万人を突破しました。子育て世代を中心にした納税義務者数の増等により区税収入

も増加傾向にあり、2019年度の一般会計予算は区政史上初めて1,000億円を超えるに至りました。

私はこの間、歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち“文の京”を将来都市像とする基本構想のもと、725の実施計画事業を着実に実施してきました。これからの任期では、まずは基本構想実施計画事業の総仕上げを行うとともに、待機児童解消等をはじめとした喫緊の課題に対して引き続き積極的に取り組んでいきます。

視点①

国連が定める「持続可能な開発目標」(SDGs)の視点を自治体経営に活かす。

社会の複雑化・高度化、特に少子高齢化に伴って、住民に最も身近な基礎自治体が担う役割は増大しています。幸いにも文京区では各地域における住民主体のまちづくりの拠点が芽生え、相互協力による実践が始まっています。

この先もこれらの多様なニーズに対して、効率的で的確な政策を立案実行するには「こども宅食」で既に実践しているように、区のみならず区民、NPO、事業者等様々な担い手をコーディネートし「新たな

視点②

Society5.0の視点から技術革新を自治体経営に活かす。

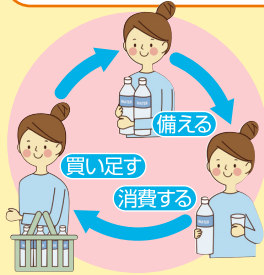
官民連携モデル」を創出していくことが求められています。

また、人口知能やIoTなどの技術革新により、社会や経済が加速度的に変化していきます。AI家電や介護ロボット、自動運転などによって地域課題が解決されることが想定されています。これらの変化を積極的に自治体経営に活かし、新たな視点を加え、「文の京」の“価値”を広げ、暮らしの先に未来が見える都市の実現を目指します。

裏面に続きます→

7つの政策的課題に向けた取り組み

① 災害等から区民の生命と財産を守る



- ◎大規模災害に備え、災害に強いまちづくりを進め地域防災力と地域防犯力の向上を図ります。
- ・避難所の備蓄強化・区民防災組織の防災資器材の充実
- ・避難所総合訓練の実施拡充など

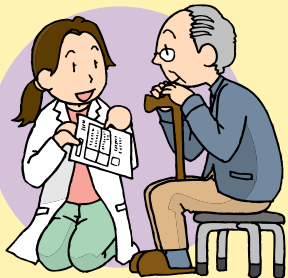
② 子どもたちに輝く未来を

- ◎妊娠から出産、子育て期にわたる、切れ目ない支援の充実と、子どもたちが健やかに成長できる環境づくりを進めます。
- ・保育所待機児童をゼロに
- ・幼稚園・保育園の保育の質の向上
- ・児童相談所開設準備
- ・育成室待機児童をゼロに
- ・放課後全児童向け事業を小学校全校で実施
- ・医療的ケアが必要な子どもに対し、適切な支援体制の構築と在宅レスパイト事業の充実
- ・必要な支援へとつなげる「こども宅食プロジェクト」の充実など
- ・子どもたちの「生きる力」を育む教育活動の推進
- ・特別支援教育の推進
- ・学校施設の快適性のさらなる向上



③ 健康で安心な生活基盤の整備

- ◎介護、医療、生活支援、住まいを一体的に提供する、文京区版地域包括ケアシステムを構築します。
- ・東京大学と連携したフレイル予防の実施
- ・春日二丁目の特別養護老人ホーム等の整備
- ◎障害者が住み慣れた地域で、安心して自立した生活をおくることのできる環境を整備します。



- ◎だれもがいつまでも笑顔で健康に暮らせる地域社会を実現します。
- ・子どものインフルエンザワクチン・高齢者に対する带状疱疹ワクチン等の任意予防接種費用の一部助成
- ・胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん検診の無料実施など



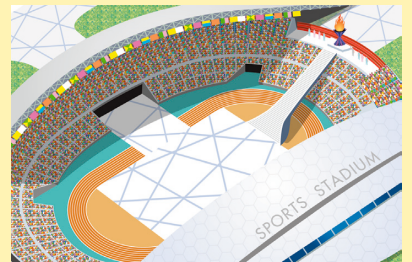
④ 活力と魅力あふれるまちの創造

- ◎地域活動団体、とりわけ町会・自治会を核とする活動に対する支援を行います。
- ◎活力みなぎる産業と商店のあるまちへの取組を進めます。



⑤ 文化的で豊かな共生社会の実現

- ◎東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成を図り、区の持つ魅力を区内外に発信します。
- ◎ダイバーシティを推進し、全ての人々が、自らの意思に基づき個性と能力を十分に発揮できる、多様性に富んだ、豊かで活力ある社会の実現を目指します。



⑥ 都市環境の保全の推進



- ◎「バリアフリー基本構想」により、誰もが暮らしやすいまちづくりの実現に向けて、区全体をバリアフリー化します。
- ・日医大つつじ通りと巻石通りの無電柱化工事、坂下通りのバリアフリー整備
- ◎「公園再整備基本計画」に基づき、魅力的な公園を整備します。
- ◎コミュニティバスBーぐるについては、新規路線の開設に着手します。

⑦ 持続可能な行財政運営

- ◎区民サービスを持続的、かつ、安定的に提供していくため、ICTを最大限に活用し、区民の利便性の向上や行政事務の効率化を図ります。
- ◎NPOや事業者等との連携をより進め、課題解決の可能性を探ります。

